



かがやき

令和8年1月8日
守口市立寺方南小学校
学校だより第10号
校長 棚本 達也

がっこうきょういくもくひょう みずか まな こころゆた
学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく」
～ ひとりひとり かがや がっこう
～ 一人一人が いきいきと 輝く学校 ～

子どもたちの気持ちのこもったあいさつが校庭に響き渡り、本校も新しい年をスタートしました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

3学期は、一年のまとめの学期であるとともに、新しい学年を迎えるための準備をする大切な期間でもあります。子どもたち一人ひとりが目標を立て、その目標に向かって具体的な取り組みを進めていくことができるよう、全力をあげて教職員一同教育活動に取り組んでまいります。今年一年も、心温かいご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

～3学期始業式で子どもたちに話した内容～

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。目標や計画は、一年の最初にしっかりと立てておくことが大切である、という意味です。学校にとっては今日が一年の始まりの日です。そこで、1年のはじめに、皆さんに寺方南小学校の目標について話します。寺方南小学校の目標は「自ら学び 心豊かに たくましく」です。こんな人になってほしいという願いが込められたこの目標を、いつでも思い出せるようにしてほしいので、「竹」を例にして話します。

まず、「自ら学ぶ」は竹が生長するイメージです。竹は大空に向かって、ぐんぐんと真っ直ぐに伸びていきます。日本に生息する竹の中には、1日に1メートルも伸びるものがあり、すごいスピードで生長するそうです。皆さんも目標に向かって、自分から進んで学習することで、力はぐんぐんと伸びていきます。



みずか まな
「自ら学ぶ」

次に、「心豊かに」は竹の根っここのイメージです。地上からは目に見えない竹の根っこは地面の下で手をつなぐように全部つながっているそうです。だから地震の時に竹がたくさん生えている竹藪の中に逃げ込むと安全と言われるくらい竹の地面は強いのです。皆さんも、目には見えない心が友達の心とつながることで、違いを認め合い相手のことを思いやる行動ができるようになります。そして強い絆ができます。



こころゆた
「心豊かに」

最後に、「たくましく」は竹の節のイメージです。竹には節があり、どんなに強い風に押されて傾いても折れることなく、また起き上がります。このようにしなやかに曲がって、もとに戻すことができるの「節」があるからです。皆さんも、くじけそうになった時に、チャレンジすることで、心や体が強くなります。



このように、寺方南小学校の目標は、「自ら学び」竹のようにぐんぐんと力を伸ばし、目には見えない心と心をつなげ「豊かな心」を育み、くじけそうになった時にも、チャレンジして「たくましく」成長してほしいという願いが込められたものです。この学校目標を踏まえて、皆さんも自分の目標を立て、その目標に向かって毎日何をするのかを具体的に計画しておきましょう。そして、皆さん一人ひとりが「自ら学び 心豊かにたくましく」成長していくことを期待しています。